

## 香川大学ダイバーシティ&インクルージョンフェスタ 2025

### <開催報告>

D&I セミナーPartI 「子ども・若者の居場所づくりと支援—社会的擁護の視点から」

日時 : 2025年10月15日(水) 10:30~12:00

会場 : 幸町北キャンパス 422 講義室

参加者数 : 42名

D&I セミナーPartI は、「子ども・若者の居場所づくりと支援—社会的擁護の視点から」というテーマで、ゲストスピーカーとして、合木 啓雄 氏 (NPO 法人 丸亀街づくり研究所 理事長) をお招きし、教育学部「人権教育」という授業を本学構成員に公開して開催しました。

野口理事 (企画・評価・ダイバーシティ・広報担当) から開会挨拶に続き、授業担当の小方教授 (教育学部) から合木 啓雄 氏の紹介がありました。

はじめに、グループワークを交えたアイスブレイクが実施され、その後は社会的養護 (アドボカシー) についての説明がありました。また、アドボカシーに関連した場面・立場を設定し、実際の当事者の立場になってグループワークを実施し、その時の考えを話し合うことで理解を深めました。”見えないうところに思いを馳せること”や”いのちの寄り添い”の大切さを感じるセミナーとなりました。

アンケートには、「実際に役になりきることで、寄り添うことの大切さを実際に体験する活動ができたことが印象に残った。」「ワークを通して実際に当事者の立場に立って考えることで、色々な場面を想定できて考えることができて面白かった。」といった声が寄せられました。



合木啓雄 氏



セミナーの様子



小方教授



野口理事

## D&I キャンパスプロジェクト Aster 主催イベント

「現代のLGBTQについて考える」「現代のルッキズムについて考える」

日時 : 2025年10月28日(火) 16:20~17:50、29日(水) 16:20~17:50

会場 : 幸町北キャンパス 311 講義室

参加申込者数 : 15名 (運営者含む)

10月28日および29日に、D&I フェスタの一環として、D&I キャンパスプロジェクト Aster 主催イベントを開催しました。

28日は「現代のLGBTQについて考える」をテーマに、カミングアウトやアウティングを扱う映画を視聴し、その後、参加者同士で感想や意見を共有しました。Asterメンバー以外にも数名の学生に参加していただきました。映画鑑賞後の意見交換はペアでの話し合い形式としたことで踏み込んだ議論が可能になり、それぞれのペアで活発な意見交換が行われました。

29日は「現代のルッキズムについて考える」をテーマに、整形・脱毛広告がもたらす固定的な美の押し付けや、ミスコンにおける多様性の問題を扱った動画を視聴しました。その後、論点を整理しながら、学生と教職員が混ざったグループで意見交換をしました。参加者の個人的な考えはもちろん、学生目線・教職員目線それぞれの立場から意見が出され、多角的な議論が展開されました。

アンケートには、「LGBTに対する態度は環境によって影響されることがわかった。」「何事もまずは知ることが大切だと思いました。いろいろなみなさんと意見交換できたことがとても有意義でした。普通とは何か、いつも思うところです。」といった声が寄せられました。



視聴の様子



意見を共有



議論のまとめ

## D&I カフェトーク「未来を描く：私たちが働きたい職場とは」

日時：2025年11月12日(水) 15:00～17:00

会場：図書館中央館2階ラーニングcommons

参加申込者数：21名

D&I カフェトークでは、「未来を描く：私たちが働きたい職場とは」というテーマで、働きたい職場を意見共有しつつ、協働のあり方を考える場を用意しました。

話題提供者である野口理事（企画・評価・ダイバーシティ・広報担当）から、今回の趣旨と進め方の説明がイベント冒頭にありました。まずは、参加者が職場での働きづらい点を付箋に書き、全員分の付箋を類似した内容でグルーピングして、7つのグループに分類しました。そこから、「労働環境について」「業務の引継ぎについて」「業務効率化について」「DXについて」の4項目に絞り、それぞれが気になるグループに参加して、その項目に対する理想の状態、個人として解決に導ける方法、組織として解決に導く方法を考えて発表して、グループとしての解決方法をまとめました。最後にグループごとにまとめた内容を発表し、意見を共有しました。

アンケートでは、「同じような意見を持った方が意外と沢山いた。」「普段、交流のない他部署の方々の意見を聞くことができてよかった。」「自分が考え付かなかった様々な思いを聞いた。」といった感想や、「他部署の方とざっくばらんにお話しする機会がこれまでになかったので、今回の研修で良い交流ができた。」「このような取り組みについて、年度内で継続的な開催をお願いしたい。」といった意見が寄せられました。



カフェトークの様子



グルーピング作業



グループ毎の発表

D&I セミナーPart2 講演① 「災害時外国人支援の取り組みについて」

講演② 「四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構の取り組みについて」

日時 : 2025年12月17日(水) 13:00~14:30

会場 : 総合教育棟 (DRI棟) 1階 第11講義室

参加者数 : 84名 (対面57名 オンライン27名)

D&I セミナーPart2の第一部は災害時外国人支援の取り組みについて、総社市人権・まちづくり課国際交流推進係 譚 俊偉 (たん しゅんわい) 主事に、第二部は四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構の取り組みについて、四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 金田義行 地域強靱化研究センター長にそれぞれ講演いただきました。

和田副学長の司会進行のもと、上田学長の主催者挨拶をもって開会し、はじめに譚俊偉氏による講演がありました。譚氏が総社市での多文化共生施策、災害時の外国人支援の具体例、平時からの備えの重要性に加えて、言語や文化の違いを踏まえた支援体制の必要性についてカードを利用した具体的な事例を交えて説明された後、参加者との活発な質疑応答が行われました。

その後、金田義行 地域強靱化研究センター長が、本学における防災・危機管理分野の教育および研究の取り組みをシミュレーションや分析データを用いて説明されました。また、地域と連携した防災意識向上の取り組みや、災害時外国支援を意識したワークショップを紹介されました。最後に、本学職員 (シンガーソングライター) の Milly Rise 氏による防災ソング「そなえたらこわくない」が披露されました。

閉会にあたっては、香川県国際課の土居義昌課長から講評があり、本セミナーの意義や、今後の外国人支援および防災分野における連携への期待が述べられました。

本セミナーを通じて、参加者は災害時における外国人支援の重要性や、自治体・大学・地域・市民など多様な主体が連携して取り組むことの必要性について理解を深め、防災意識の向上につながる機会となりました。



上田学長



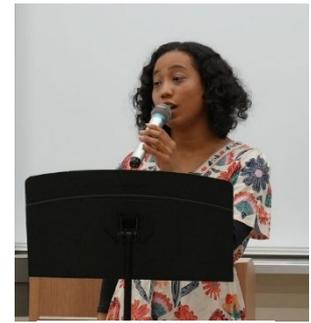
譚 俊偉 主事



金田義行センター長



セミナーの様子



Milly Rise 氏



土居義昌 課長